



楓

ふうえん

園

特集

新学期が始まりました

入学式の式辞から —大学—

新大学国際社会学部長就任挨拶

新大学付属かえで幼稚園副園長就任挨拶

前大学付属かえで幼稚園長退任挨拶

学院人事

- 5 NEWS 大学・大学院／中高部／小学部／
東洋英和幼稚園／大学付属かえで幼稚園
- 10 英和の日々
- 11 この人に聞く 石丸 友里
- 12 聖書の言葉／史料室レター／TOYO Wa-Wa
- 13 2013年度 行事予定
- 15 英和星空探訪／同窓会より／お知らせ

TOYO EIWA JOGAKUIN
 Public Relations Report



大学入学式

あいにくの雨でしたが、桜の咲くキャンパスに新生を迎えました。入学式では、各学部の新入生代表が誓いの言葉を述べます

新学期が始まりました

自分を愛してくれる人を愛したところで、あなたがたにどんな報いがあるだろうか。徴税人でも、同じことをしているではないか。自分の兄弟にだけ挨拶したところで、どんな優れたことをしたことになろうか。異邦人でさえ、同じことをしているではないか。

マタイによる福音書 五章四六〜四七節

二〇一三年度がスタートし、今年も多くの新入生を迎えることができました。在校生の将来が輝かしいものとなりますよう、教職員一同努めて参ります。今年度もご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

入学式の式辞から―大学―



村上 陽一郎
学長

新入生の皆さん、ご入学おめでとう。ご家族の皆様も、長いご丹精が実つて、今はほっとしておられることと存じます。

言うまでも無いことですが、大学というのは、大学院も含めて、社会が用意する教育制度の最後に当たります。いわば出口に相当します。それだけに、これまでの制度とは異なる特徴を幾つか備えています。

その第一は、大多数の学生たちが、大学に在籍中に成人を迎えることです。そのことを前提に、大学では、皆さんを初めから成人と見なすようにしています。それは、

皆さん一人ひとりが、自ら考え、自ら判断し、自ら行動する、自立した人格をもった存在と見なされることを意味します。そこには、自由とともに義務と責任が生じます。

その点は、勉学の面にも現れます。これまでの教育制度のなかの勉学では、正しいとされることを覚え、身に着けることを求められてきたでしょう。しかし、大学での学びでは、必ずしも「正解」とされることだけが問題になるわけではありません。むしろ、「正しいかどうか」という判断抜きに、様々な選択肢が示され、どの選択肢を選ぶかは、個人に任せられるような場面が多くなります。また、これまで正しいものとして学んできたことは異質の考え方に会ったことで、自分自身の基礎が揺らぐような思いを経験することも、決して少なくないはずで、そういう経験を大事にしてください。現代社会は、自分とは異質の他者と出会い、異質の他者と場所と時間を共有しなければならぬ機会に満ちています。その

とき、そうした経験は、きつととても役に立つはずです。

さらに言えば、これは本学というよりは、一般的な傾向なのですが、大学生活を終わるときがきたとき、色々な意味で、どれだけの人が成長したか、それを示す幾つかの指標があります。その指標は、入学試験のときの成績とは、ほとんど関係がないのだそうです。しかし、皆さんがこれから一年間大学生活を送った段階での成績とは、密接に関わっている、というデータが出ています。このことは、大学での学びが、これまで皆さんが出会ってきた勉学の延長上には、必ずしもない、ということの、間接的な証拠になるでしょう。まず、この一年間が大切です、しっかりと大学での学びの基礎を造ってください。私たち教職員は、全面的にそのお手伝いをいたします。

もう一つお伝えしたいのは、本学がキリスト教信仰を基礎とする建学の精神に立っている、ということ。『敬神奉仕』がその

モットーになります。そして、キリスト教に基づかないとしても、人間を越える何かの前に謙虚になり、他者の為に働く、というこのモットーは、大切にしたいと思えます。それと同時に、当然のことですが、自立した成人と見なされる皆さんは、キリスト教信仰を強要されるなどということは、決してありません。しかし、今世界を見渡しても、あらゆる地域で、宗教に関わる様々な問題が起こっていることはご存じでしょう。現代社会に生きる人間であればこそ、宗教に対する十分な理解は、不可欠の要素の一つです。本学では、キリスト教のみならず、あるいはキリスト教に対する健全な批判も含めて、宗教全般に亘って、十分な理解が届くように、工夫がされています。その点を活かして、是非積極的に宗教に取り組んでみてください。

皆さんのこれからの本学での時間が、実り豊かなものであることを祈って、私の式辞といたします。

新大学国際社会学部長就任挨拶

伸びやかさと心の優しさに、心の強さを



望月 敏弘

週に一度、大学院に通う際、帰宅する英和の中高部生から、伸びやかで、あくせくしない雰囲気を感じとっていました。今の大学にも、この校風は共有されているようです。他者に心優しい「敬神奉仕」の精神は、外から見えにくいかもしれませんが、受け継がれているのだと思います。

さて、私は、大学院で地域研究(中国の政治・外交)を学んだ後、英和の短期大学国際教養科に着任し、続いて、大学の国際社会学部へと移りました。その間、外務省への出向による中国・上海での調査・研究、台湾の中央研究院(総統府シンクタンク)での研究の機会を学院からいただきました。今回、学部長の重責を担うこととなりました。受験生の漸減傾向、在学生の学力向上、移転問題など、難題ばかりです。とにかく、より魅力的な学部づくりを目指す方針でまいります。そして、困難に直面すると、ともすれば立ちすくみがちな英和生を、学びを通して、本来の優しさに自信と逞しさを纏わせて、実社会に送り出せるよう尽力できればと考えております。

新大学付属かえで幼稚園副園長就任挨拶

一人ひとりの幼子の幸せのために



大瀧 知子

数年前、大人になった卒業生が園に集まりそれぞれの幼稚園時代の印象を語り合いました。その折、「幼稚園のことを思うと、暖かな陽だまりの中に居た光景が目につかぶ」とのAちゃんのことばに、「私もそう」「僕も」と共感の輪が生まれました。私は彼らが幼児期に安心と信頼を得て幸せだったのだなと確信し、深く感謝しました。

横浜青葉区美しが丘周辺の幼子たちの幸せのためにキリスト教に立った保育をすることがかえで幼稚園の創設からのビジョンのひとつでした。その精神は、宣教師の先生方から教え伝えられてきたものであり、一九七三年から四〇年という年月の間、時代の変化を受け入れながらも、かえでの中に変わらずに継承されてきました。このたび、森高ホサナ先生の退職に伴い学長でもあられる村上陽一郎先生が園長となられ、私はそのもとで副園長として現場の保育を守り支える役割の任命を受けました。保育の仲間と共に、イエスキリストを中心にした東洋英和の保育を、学院そして大学と連携して継承することに努めます。どうぞよろしくお願いいたします。

前大学付属かえで幼稚園長退任挨拶

次の時代に希望を託して



森高 ホサナ

一九七三年、私はかえで幼稚園の創設の時に新任として歩み始めました。当初より子どもと共にいる生活は喜びに満ちたものでした。砂ぼこりが舞う庭に植えられた木々は弱々しく、遊びも乏しい出発でありましたが、そこには気高い理念と溢れる夢がありました。この地域に暮らす子どもたちの幸せを願って保育しながら、「子どもにとって何が大切か」ということを話し合ってきました。いつの時代にも良き仲間がいました。一人ひとりが、お互いの賜物を生かしながら、良いハーモニーを作ってきたと思えます。かえでの保育は、最初は粗末な環境の縦糸と貧弱な遊びの横糸で織られたぐさぐさの織物のようでありました。四〇年の時を経て、木々はしっかり根を張り、季節の花に囲まれた環境の中、遊びが伝承され、日々豊かに繰り返されています。かえでの保育は、縦糸も横糸もしっかりつまった織物のようになりました。

私は深い感謝をもって、ここでの役割を終えて次の時代に希望を託します。これからも置かれた場所で主の僕として使っているだけのことを期待しています。



「読後のつどい」を終えて、高校生との交流会

英和生が広げる読書の輪

昨年度学長賞を受賞したブッククラブ。「基礎力GP」*の活動の一環として、2名の人間科学科有志学生(当時1年生)からスタートした活動は、様々な読書活動を実施することで、メンバー・活動内容ともに着実に広がりを見せています。2013年3月には人間科学科・入学前教育「読後のつどい(読書会)」のファシリテーターも務め、集まった高校生に読書の新たな楽しさを伝えました。

*文部科学省「学生支援推進プログラム」の優れた取組として選定された、「卒業生活用によるキャリアの早期意識化と基礎学力強化による就職支援」プログラム(2009-2011年度)

人間科学部人間科学科臨床心理・社会心理専攻

二〇一三年三月卒業

足立 亜利沙

二〇〇九年、「読書離れが進む中、学生から読書を促すムーブメントを起こす」という主旨でブッククラブは始まりました。ブッククラブでは主に読書会の企画運営を行っています。読書会では一冊の本をお題とし、その本に関して様々なことを語り合っています。読書会の他にも、かえで祭での文芸誌の発行、ジブリオバトル(書評合戦)の開催、新入生向けのレポート対策講座、出張図書館などの活動をしてきました。二〇一二年十一月には村上学長へのインタビューを行い、貴重なお話を伺うことで自分自身の読書意識を深める経験もできました。活動を通して、最初は僅かだったブッククラブのメンバーも増え、イベント参加者も増えてきました。徐々にではありますが、東洋英和に読書の輪が広がっています。

この活動に参加して、私は自分から声を出すこと、周囲と協力することの大切さを学びました。

ブッククラブはこれからも読書の輪を広げるべく活動していきます。本が好きだという方もそうでない方も自分なりの本との向き合い方があります。ブッククラブはそれを見つめるお手伝いをしていきます。



現地での交流で多くのことを学びました

私がインド研修で感じたこと(滝澤ゼミ)

大学の最大の魅力のひとつにゼミ合宿があります。ゼミによってやり方は様々です。国内だけでなく、海外にでかけて合宿することもあります。いずれの場合も、教室では得られない貴重な経験をすることができます。同時に、ゼミ生との友情を育む良いチャンスにもなります。国際社会学部では途上国の開発問題が大きなテーマで、幾人かの先生のゼミは東南アジアでゼミ合宿を行っています。

国際社会学部国際社会学科二年

小出 彩乃

滝澤三郎先生と先生のゼミ生、先輩の方々と一緒に、二〇一二年八月に海外研修でインドに行く機会に恵まれました。私にとって発展途上国と呼ばれる地域の訪問は、これが初めてでした。途上国については教科書や本で得た知識はありましたが、現地の体験から得られたものは

それ以上でした。インドの光と陰の差に大きな衝撃を受けました。

私たちは、現地の国立大学の学生と交流する一方IT産業の先端を行うソフトウェア企業、日本のODAで作られた老人保健施設、国際NG

Oが運営する老人ホームなどを訪問するなど、中身の濃い経験をしました。その中で私が最も衝撃を受けたのは、デリー市内のスラム街訪問でした。

インドでは所得によって子どもたちが受ける教育に大きな格差があります。幼い頃から私立学校に通うことのできる裕福な家庭の子どももいれば、義務教育さえまともに受けることのできない貧しい家庭の子どももいます。私立学校とは違い、公立学校では英語教育にあまり力が入られていないため、どんなに努力しても、公立学校を卒業した子どもたちは就職で不利な立場に置かれるそうです。実際にソフトウェア企業の社員はほとんどが私立学校卒の裕福な家庭の子でした。

しかし子どもたちの笑顔からは、電車から捨てられるゴミを拾って生活している現状を忘れそうになるくらいのパワーを感じました。子どもたちのはち切れんばかりの笑顔が、大人になるにつれて消えていってしまうのだと思うと、複雑な気持ちになりました。

私たちは、彼らのために何ができるのでしょうか。支援の形はそれぞれですが、私は彼らの笑顔を守ることのできる支援をしたいと考えました。そのためにも、もっと深く現状について知り、学びたいと、研修を通じて強く思いました。

短大卒でも入学できる 国際協力研究科の魅力

最近の傾向ですが、国際協力研究科に短大卒の人が多く入学するようになりました。短大卒の資格でも、社会経験を認める制度があるからです。

ある受験生は東洋英和の短大英文科を卒業し、二〇年ほど国際協力NIGOを運営するという社会経験を持っていました。今までの自分の活動を学問的に整理してみたいという希望で、国際協力科の受験資格審査と入学試験に合格して入学しました。他の大学院からも誘いがあったようですが、「敬神奉仕

の精神を培った鳥居坂の母校で再び学びたい」と、同科への入学を決められました。

会社や学校でのキャリアを終えてから、もう一度学生時代に戻って勉強してみたいという人も増えていきます。まさに生涯学習の実践そのものですが、分野によっては教員よりも豊かな経験や知識があり、教員が学ぶことも多くあります。そうした学生との討論は、他の学生にも良い影響を及ぼしています。

もちろん大学院ですから、修士論文を書かなくてはなりません。今まで政治や経済、社会学などを専門的に学ん

だことがなく、論文の書き方がわからないという学生も多いため、国際協力科では社会科学の勉強の仕方から修士論文作成までの手順をわかりやすく教える科目もあります。「いきなり大学院に行くのは不安」という人のために、「科目等履修」という制度もあります。これは事前に数科目を履修して、自信が付いてから大学院入学を決めようという人のための制度です。大学院に入学すると、取得単位は正式に認められます。国際協力研究科の門戸は大きく広く開かれています。もっともっと多くの短大卒の学生に来てもらいたいと願っています。



講座風景

めの講座になります。

途中参加も可能ですので、ぜひ、お出かけください。

大学院の教員にとって 代えがたい魅力

人間科学研究科教授
石渡 和実

大学院で授業を担当するようになって、もう十五年にもなります。人間科学研究科の大学院の魅力は、何といっても「人間科学」に関する学際的な学びができるということです。大学院では、看護師、保健師、理学療法士や作業療法士、言語聴覚士などの医療職、教師、保育士、ソーシャルワーカーなど、「人」に関わるさまざまな専門的な仕事に携わる人々が一堂に会します。経歴や職場、研究テーマは違っても、「人」への

熱い想いは共通しています。

授業では発表者の体験や研究報告に引き込まれてしまいます。それぞれの視点から質問やコメントが次々と出され、熱心な討議へと発展します。「皆、根っこは同じ。人や暮らしにこんなに深く関わっているんだ」と、教室は深い感銘を受ける場となります。

「教員と院生」という関係ではなく、同じ目的に向かって歩む同志、共同研究者というのが率直な感想です。英和の大学院ならではの「伝統」が築かれたところというところでしよう。気心の知

れた仲間と深い議論ができ、貴重な時間を共有できたという満ち足りた思いがじんわりと拡がっていきます。時には夜の六本木と一緒に練り出すこともあります。

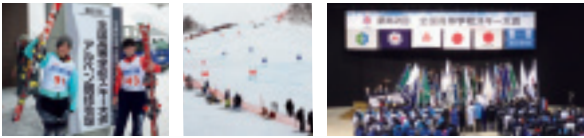
大学院修了後も、セミナーで一緒にしたり、訪問した施設で再会したり、まさに「志を同じくする仲間」が次々と増えていきます。こんな環境にいられることに心から感謝しています。

おすすめの講座について

生涯学習センター

横浜キャンパス(全一八〇講座)、六本木キャンパス(全五一講座)において、四月から二〇一三年度講座を開講しております。その中から、六本木キャンパスの新講座をご案内いたします。

「男子の読書会―原書で読む『ブライズヘッド再訪』」は、英国小説の原文を読む講座で、「斜陽」となった英国貴族の再生を描いた物語は人生経験を重ねた「大人」の読書にふさわしい内容の講座」と新聞でも紹介されました。講座名が「男子の読書会」ですが、もちろん女性も大歓迎です。英語好きの方に読書の愉しみを味わっていただくおすすめの講座になります。



英和生がインターハイに出場!!

それぞれが自分の力を出し切りました



悪天候でも果敢な滑りをみせる榎森さん

悪天候の中、たくさんさんの思い出をくれた大会

高三 榎森 遥

私は二月に札幌で行われた全国高等学校スキー大会に東京都代表として参加しました。私にとって三度目となる全国大会でしたが、滑り慣れていない北海道での試合にいつもとは一味違った緊張感に包まれました。アルペンスキーでは大回転と回転の二種目実施されたので、二種目出ることができました。初日に行われた大回転競技では、斜面変化とアイスバーンに苦戦し、自分の思い通りの滑りをすることができず目めとなった回転では、遅いスタート

毎日の学業のかたわらで、さまざまな分野で活躍している英和生たちがいます。今回はインターハイに出場した二人を紹介しします。それぞれ大回転と回転に出場しました。

でコース状況も悪かったのですが、練習で意識していたことを一部ではありましたが実行できて良かったです。二本目は更に改めて結果を良いものとしたかったのですが、暴風雪のため競技が中止となってしまい残念でした。インターハイでの結果や自分の滑りは納得のいくものではありませんでしたが、競技へ臨む自分の姿勢や練習は悔いなくできたと思います。また、同世代のトップレベルの選手の滑りを見ることで、追いつけない自分への悔しさも含めて、とても生産性のある試合となりました。今回の試合を通して自分の競技のために沢山の人が動いてくださったということを実感することができました。

ケガから学んだ競技までの日々

高一 藤巻 莉奈

中学部での三年間は一生懸命部活に取り組みながらアルペンスキーも続けていました。練習時間があまりなく、大会でも成績が出せないことに悩み、大好きだった部活を辞めてスキー一本に集中することを決めました。しかし今シーズンを迎える十一月のトレーニング中に不幸にも右腕を骨折してしまいました。全治三ヶ月といわれ、希望を失いかけてしまいましたが、幸い父の友人のお医者様に治療、サポートしていただき、十二月にはギブスを装着し雪上練習に参加することができました。ギブスを装着したままの練習は制限が多

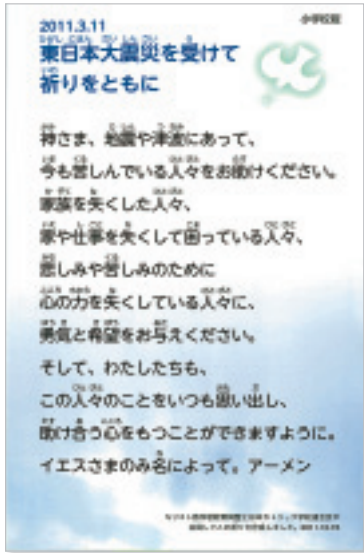


今回の経験を生かし進化したいという藤巻さん

く、再転倒すると危険なため、コーチも自由には滑らせてくれません。思うようにいかない中、インターハイ予選の日が近づき焦りが募る日々でした。思い返せばいつもチームメイト、コーチ、学校の友人、先生方、そして両親のサポートがあったから乗り切れたのだと痛感しました。骨折したことで私の心は成長し改めて自分が幸せに生活できるのだと気づきました。インターハイ予選は二種目ともに十位で代表権を獲得したので、国体予選では自分が代表権を獲得できるとは思っていませんでした。あまり多くを望まず、緊張せずに自分の滑りができたのが四位という結果につながったのだと思います。そして迎えたインターハイ、国体共に難コース、急斜面に経験不足から圧倒され、納得のいく滑りができず、全国大会のレベルの高さを感じました。一方で自分としては新しい課題が見つかったので、今後へつなげてもっと速くなり、進化したいと思っています。

お世話になった方々に、この場をお借りして感謝の意を述べたいです。本当にありがとうございます。今後も頑張ります。

被災地へ思いを寄せて…



共同の祈り

毎月十一日の給食は、東北の郷土料

③ 東北の郷土料理

先生方が被災地を訪れて考えたことを写真を見ながら聞きました。

② 三月十一日をわすれないために集会

三月十一日には全校児童が一堂に集まって、祈りの時を持ちます。今年は、トリックの学校が共同で作成した、小学生のための祈りを唱えています。私たちの祈りが大きな力になることを信じ、これからもずっと祈り続けていきたいと思えます。

① 共同の祈り

二〇一二年三月十一日に起きた東日本大震災。未曾有の被害に大きな悲しみを受けた方々への思いを忘れないように、小学部ではさまざまな取り組みを続けています。



仮設住宅への贈り物づくり

④ 仮設住宅への贈り物

震災後二度目のクリスマスも、仮設住宅で暮らす方々へ贈り物を届けることができました。ご家庭のご協力を得て、リースやオーナメントなどの素敵な手芸品がたくさん集まりました。また学校では、クラスの間や休み時間を利用して、オーナメントを製作しました。

⑤ 復興ぞうきんの販売

母の会では、復興支援の取り組みとして、被災地にたくさんのお金を注ぎ文することができました。仕事を失った方々が新しい仕事を受けること、大きな喜びを得ると言われています。



陸に残された船



被害の大きかった大川小学校



奇跡的に残った一本松

⑥ 教員の被災地訪問

二〇一二年八月下旬、小学部と幼稚園の教員二〇名で、宮城・岩手の被災地を訪問しました。二〇一〇年九月に六年生修学旅行で見た美しい景色と、あまりにも大きな違いに、言葉を失わずにはいられませんでした。住宅の土台のみ残された跡、柱や壁だけが残った大型スーパー。そこに暮らした人々の生活が時を止めたまま、私たちに訴えかけてきます。語り部さんの話によると、あるホテルでは、あわてて外へ逃げ出そうとする人々を制止して、屋上への避難を促したそうです。みんなで余震に怯えながら腰まで津波に襲われた時は、どのような心境だったのでしょうか。幸いそのホテルに避難した全員が、無事だったそうです。

小学部給食 震災を覚える日の献立例	
けの汁 青森県津軽地方	米が貴重だった頃の小正月に、野菜などを細かく刻み米に見立てて食べられた料理。給食では野菜、凍り豆腐、油揚げ、豆などを使います。
芋煮 山形県	牛肉、里芋、ごぼう、ねぎ、こんにやくなどを煮た郷土料理。山形では秋、多くの人が集まる芋煮会が行われます。
温麺(うーめん) 宮城県白石地方	そうめんのように細い温麺。麺を作るとき、一般のそうめんとは違い油を使わないため、さっぱりとしています。
なみえ町焼きそば 福島県浪江町	太麺に豚肉、もやしを加えソースで炒めたシンプルな料理。町おこしのB級グルメ大会や、震災復興のまつりにも出店しています。
盛岡風じゃじゃ麺 岩手県盛岡市	中国のジャージャー麺を盛岡風にアレンジした料理。麺は、うどんに似た平麺です。
せんべい汁 青森県八戸	鶏や野菜を入れ、味付けした汁の中に煮崩れしないせんべいを入れた汁物。200年前から食べられていた伝統的な郷土料理です。
かにめし 福島県いわき市	かにを米に加えて炊きこんだ郷土料理です。

従業員の一瞬の判断が、多くの命を救いました。

今回、被災地を訪問し、私たちにできることは何かを改めて考えることができました。私たち教員は、未来ある大切な子どもたちの命を預かっています。どんなに不測の事態が起ころうとも、つねに最善の方法を短時間で決断する知恵と勇気が必要です。日頃から多くの知識や情報を把握しておくことやさまざまな想定をした訓練を重ねることで、より冷静に正しい判断ができるようになりました。震災の甚大な被害から得た教訓をつねに心にとめて、目の前の子どもたちを守っていきたいと思えます。

4歳児・5歳児会食～ベンガルカレーをいただいて～

東洋英和幼稚園では、以前からバングラデシユに思いを寄せています。

今年も大きないちようの木から銀杏が落ち、子どもたち・ご家族の方、そして学院の方々にぎんなん献金をしていただきました。その献金と保護者と協力して集めた文房具をA C E F事務局へ5歳児が届けに行きました。今回は、その時にお土産に買ってきてくれたチャー(チャイ)と共にベンガルカレー、みかんを4歳児・5歳児がホールと一緒にいただきました。

日本の国から遠く離れているバングラデシユという国は、どのような国なのか? スライドや写真、手紙を読みながら伝えると子どもたちから「どんなものを食べているの?」という質問が出ました。そこで今回、子どもたちとバングラデシユで毎日食べているバンガルカレーを、現地いらした方からいただいたレシピを元に、スパイスをたくさん入れて作りました。

子どもたちが切った野菜、肉を、ターメリックと和えました。入れていくうちにどんどん黄色くなっていき、クミン・ローリエ・シナモン・カルダモンなど



4歳児・5歳児一緒にテーブルで「チャーもカレーもおいしいね!」とたくさん食べました



かぼちゃ、たまねぎ、にんじん、なす... 子どもたちが野菜の皮を剥き、細かく切りました

を加え、グググ煮込むとカレーの香りが幼稚園に漂いました。「家でお母様が作るカレーと違う。スープみたい」「辛くないね。おいしいね」「バングラデシユの人たちは毎日カレーを食べるんだって」「スープみたいなのに手で食べるの?できるのかな?」

などと、子どもたちは、カレーやチャーを何回もおかわりしながらバングラデシユを身近に感じ、食文化に触れる楽しいひと時を過ごしました。

大学付属 かえで幼稚園

園の中でのひとりの遊び

園は、ひとりでも、けつしてひとりぼっちではない場です。ひとりでの遊びをしている子どもたちは、周りの者たちの存在を感じながら、「今日はこれをすると選んだ遊びに向かいます。満足や達成感を味わうまで、」また明日続きをしよう」と、何時間も何日もその遊びに夢中になります。そして、「これでよし」と、自分の中で終わりを決めます。

多くの子どもは、他の子どもたち(特に年上の子ども)のしていることに目をとめ、「いつか、やってみたい」という思いを抱きます。そして、自分の持っている技術や、覚えた道具使いを生かして、少しずつ試してみたり、

ごそごそとつくり、その楽しさを知っていき繰り返します。つくることの好きな子どもた



空き箱や紙をこつこつ、ごそごそとつなげ合わせ、つくる楽しさや何かに見立てる楽しさを味わいます



ていねいに時間をかけて、満足いくまで続けます

ちは、紙や空き箱での制作もおおいに楽しんでいますが、木工も好きになり、喜々として木工室まで出向いて行き、ノコギリで挽く(切る)ことや金づちで釘を打つこと、くりこぎりで穴をあけることなどを組み合わせて、つくることをします。二〇一二年度、保育者がやすりで木を磨くことのおもしろさをあらためて見直したこともあり、その思いが反映してやすりかけに深く関わり「すべすべになった」とその感触を楽しんでいる子どもたちも多くいます。

また、庭では来る日も来る日も、じつとしゃがみこんで、どろだんご作りをしている子どももいますし、なわとび・たけうま・鉄棒などにもこつこつと取り組む姿もあります。

成長と共に、織物や縫い物や編み物などの手仕事も喜んでするようにもなります。

ひとつのことに、ていねいに向き合い、時間をかけられるということが、成長の中の大切な力となります。二〇一三年度も保育者は、そのプロセスでの、小さな喜びや発見に心を合わせ、その時にあった支えをすることを大事にしたいと思っています。

東洋英和幼稚園

■アドヴェント終業礼拝
12月14日(金)

■始業礼拝 1月9日(水)

■父と子の遠足 2月2日(土)

■おはなしの会 2月12日(火)

各学年、白井敬子さんから素話^{すはなし}をしていただき、後日母の会でお母様にも語っていただきました。

■日舞を観る会 2月18日(月)

日本舞踊振興財団の方が来てくださり、「大原女」を見せていただきました。衣装の着付けや、白粉塗りのコナーや、お扇子や楽器にも触れさせていただきました。

■終業礼拝 3月12日(火)

■卒業式 3月13日(水)

三九名の子どもたちが卒業いたしました。ご家族の方と共に礼拝を守り、保育証書授与を行いました。



日舞を観る会
演目「大原女」

大学付属かえで幼稚園

■クリスマス礼拝 12月

未就園児親子を招いてのクリスマス集いの時をもちました。三歳児の礼拝には、

五歳児有志が加わり、共にページェントをしました。

四歳児・五歳児は、二日に分けて縦割りクラスで礼拝を守りました。また約一六〇名の小中学生とのクリスマス礼拝も恵みの時でした。

■父親保育参加 2月2日(土)

四歳児の父子が、園のいつもの環境の中で穏やかに遊びました。また、クラスでの集いにおいては、父子のふれあいを楽しみました。

■第四〇回保育証書授与式

3月15日(金)

五三名の子どもたちが、神さまと多くの方々祝福の中、希望をもって園を巣立って行きました。



保育証書授与式

小学部

■むかえようクリスマス
12月15日(土)

■クリスマス礼拝
12月19日(水)

■マグノリアコンサート
1月25日(金)

■美術展

2月8日(金)～9日(土)

■親子討論会

きらきらコンサート
2月9日(土)

公開行事であるきらきらコンサートでは、低学年の有志、6年生が合唱を披露し、児童のきらきらした表情と歌声に包まれました。

■「3月11日をわすれないために」集会 3月11日(月)

今年度は、被災地を訪れた先生方から、お話を聞くことができました。

■卒業式 3月14日(木)

■修業式 3月15日(金)



美術展

中高校

■中学部鑑賞行事
12月7日(金)

九世野村万蔵氏をお迎えして狂言教室を開催。

■クリスマス礼拝
12月20日(木)

中学部は礼拝後に聖誕劇を演じ、高等部は増田将平牧師(青山教会)からお話を伺いました。

■講演会(中3～高二)
2月5日(火)

作家の重松清氏をお迎えして「迷う力」と題された講演を聴きました。

■英和茶会

3月8日(金)～9日(土)

卒業生有志の会が開催する英和茶会(新宿御苑・楽羽亭)に高二が招かれました。

■高等部卒業式
3月18日(月)



講演会 作家の重松清氏

大学・大学院

【大学】

■クリスマス礼拝
12月17日(月)

説教・桜美林大学チャプレン 土橋敏良氏

■人間福祉学科閉学科懇親会
3月9日(土)

三月をもって閉学科となった人間福祉学科の懇親会には、卒業生、旧教職員、在学生、お世話になった実習施設の方々など約一三〇名が集まりました。

■卒業式 3月14日(木)

【大学院】

■大学院入試

冬季選抜入試(国際協力研究科のみ)、春季選抜入試(人間科学研究科・国際協力研究科)を実施しました。

■大学院学位授与式
3月16日(土)



人間福祉学科閉学科懇親会



宇宙への夢を追いかけて

「天文学者になりたい」という東洋英和の小学部生だった頃からの夢を叶え、現在は国際基督教大学で教鞭を取られている石丸さん。石丸さんを支えた聖書の教えを通して、夢に向かって努力する英和生にアドバイスをいただきました。

見上げればそこに宇宙は広がる

夜空を眺めると、宇宙への扉が開きます。漆黒の空に瞬いている星々は、どれも太陽のように、遙か遠くで眩しい光を放っています。太陽を英和の教室にある電球にたとえたなら、一番近くの星は沖繩にあることになるので、星々がどれほど遠くにあるか想像してみてください。その星が二十億個も集まったものが天の川―私達がそう呼ぶ銀河です。そして宇宙には、天の川のように何百億、何千億もの星を抱いた銀河が無数にあるのです。

こんな遠くの世界のことは私達と縁がない、なんて思わないでください。地球には、なぜ酸素があるのでしょうか。私達の血や骨になる鉄やカルシウムはどこから来たのでしょうか。それはすべて、太陽が誕生するずっと昔に輝いていた星々が、光と共に生み出した宝物です。星は輝きを失うとき大爆発を起こして、宇宙空間に飛び散ります。星が生涯をかけて作り出した宝物は星屑となり、やがてそこから新しい星が誕生するのです。だから地球が豊かな惑星であるのは、今ももうこの世にはない星々のおかげなのです。

銀河の中では、こうした星の誕生と死が幾重にも繰り返されてきま

した。私は、星の営みと共に歩んできた銀河の歴史を解明する研究をしています。宇宙史の中で、銀河はいつ生まれたのだろうか。どのようにして、今の姿になったのだろうか。宇宙の謎は尽きません。

東洋英和で芽生えた科学への想い

私がこんな宇宙の世界をどこまでも知りたいと、最初に思ったのは小学部の五年生の頃でした。時空を超えて想いを巡らせ、未知の宇宙にどこまでも挑む天文学者―それは私の人生最大の夢となりました。日本には女性の天文学者は少ないのに、どうしてなろうと思ったの、と学生どきにシカゴ大学の教授の奥様から尋ねられたときの事です。それは東洋英和で育ったからだ、とふと思いました。小学部で私は、理科を専任の先生に教わりました。理科を愛する気持ちに溢れた先生のお話は、当時の私にはとても新鮮で、私



パリ天文台で行われた国際学会のレセプションにて

の科学に対する興味は一気に開花しました。しかも先生は女性でいらっしやっただけです。そして女子校では女性と男性を比較する必要もなく、私は理系を目指すことに何の不思議も感じずにすんだのです。私の原動力は、天文学が好きという思い、ただそれだけでした。

明日を思い悩むことはない

さてここまでお話しすると、あと天文学者へ向かってまっしぐら、と思われそうですが、そうはいかないのが人生です。博士号を取れば天文学者かと思っていたら、違いました。大学院の後には、研究所や大学を転々としながらの修行です。来年はどこでどうしているのだろうか、という先の見えない日々が何年も続きました。その頃夫と結婚しましたが、なんと同じ立場の共同研究者だったので、二人そろってやっぱり出口はまだまだ見えませんでした。

二〇〇八年に私の研究室が国際基督教大学にできたとき、私はようやく長い長いトンネルを一つ抜けたように感じました。出口は突然現れました。今度は次の世代を育てる立場となりました。なぜだろう、私は特別なこととはしていません。ただ言えるのは、

「あすのことを思いわずらうな」(マタイ第六章三四節)という聖書の一節です。誰でも人生の先が見えなければ、不安な気持ちになりますし、リスクを想定して対策も立てます。ただ、まだ起こってもいいことで悩んでも、事態は好転しません。それよりも、とりあえず一歩足を踏み出せば良いのです。だからもし、英和生の皆さんも人生をかけた夢に向かってるときは、たとえ右往左往して、歩みを止めず諦めないことが、結局は夢への近道です。神様はそんな皆さんをしっかり見守って、エールを送ってくださるはずですから。



研究室の学生たちとキャンパスで

■いしまる ゆうり／国際基督教大学教養学部物理学メジャー准教授。理学博士。専門は天文学・宇宙物理学。小学部から高等部までの12年間を東洋英和女学院で過ごす。卒業後、東京大学で天文学を修める。博士課程修了後は、国立天文台やパリ天体物理学研究所などで研究員となる。また、千葉大学や工学院大学などで天文学と物理学の教鞭を取った後、2008年9月より現職。

あなたは、わたしの内臓を造り

母の胎内にわたしを組み立ててくださった。

詩編 一三九編一三節

五月の母の日。少女アンナ・ジャービスの亡くなった母の追悼礼拝から始まりました。医学が進歩しても母の胎内から生まれるほかない命。母子共に特別な繋がりを感じる一方、麗しさだけではなく、互いに愛し愛されていると分かっているからこそ感じる束縛、葛藤もあるでしょう。

命を与え、生かすのは誰か。究極の責任者、それは神さまで。聖書で相手を「深く憐れむ」とは「はらわた(内臓)が痛む」という言葉と繋がりがありません。痛むほどに私たちを愛する神の姿、それはキリストの十字架の苦難と復活により証明されました。母も子も悩む時、互いに向き合うだけでなく主に向かってそのままに祈り叫ぶなら、命の造り主なる神が緩衝剤となることでしょう。

造り、組み立て、包む神の愛です。

日本キリスト教協議会総幹事 日本基督教団牧師

(一九八七年 高等部卒業)

網中 彰子



80年前と54年前の5月の東洋英和を見る

史料室所蔵写真のデータ入力がかかなり進み、検索が可能になった写真が増えました。今回ご紹介するのは、どちらも五月に撮影された写真です。

上…ちょうど八〇年前、全生徒・教職員一同が大集合しました。新築のヴォーリズ校舎屋上での記念写真です。

下…創立七五周年の中高部の運動会です。二度の雨天順延後にやっと開催できました。高くそびえたっている東京タワーは前の年の十二月にできただばかりです。



1933年5月25日撮影



1959年5月21日撮影

TOYO Wa-Wa

人間福祉学科の閉学科懇親会に出席して

人間福祉学科の懇親会という機会を設けて頂き、大変ありがたく思っております。子どもとともに久しぶりのキャンパスに行き、先生方にお会いし、学生時代の様々な思い出が蘇りました。そんな嬉しい機会ではありましたが、閉学科ということに関しては、非常に残念です。

私は、人間福祉学科の立ち上げに関われ、熱心に学生の指導にあたられてきた池田裕恵先生のゼミで学びました。懇親会での先生のお話には、熱いものが込み上げてきました。

池田ゼミでは、先輩や研究誌の研究論文を読むことから始め、卒業論文、共同研究と、考察する視点を教わりました。共同研究では、対象の方との調整、やりとり、そして、それを皆と共有し、考察していくという作業がありましたが、今思うと、社会の中で必要なスキルが組み込まれていたと思います。先生には、発達心理の知識、子どもを見る視点、考察する力についてはもちろんのこと、「社会の中で、自立した女性であること」その姿勢を学ばせて頂きました。

先生から頂いた言葉で、大事にしている言葉があります。「しなやかに～芯はしっかり、でも、柔軟性を持って～」

これからも、この言葉を大事に、英和の人間福祉学科を卒業したことに誇りをもって、心身ともに健康に、社会の中で自立した女性を目指して過ごしていきたいと思っています。

山下(旧姓:居山) 恵子
大学 2003年卒

「TOYO Wa-Wa」へのお便りは……

〒106-8507 港区六本木5-14-40

東洋英和女学院法人事務局 総務企画部 まで

e-mail: koho@toyoeiwa.ac.jp でも、お待ちしております。

史料室連絡先 ● TEL:03-3583-3166 FAX:03-3583-3329
E-mail: archive@toyoeiwa.ac.jp

2013年度 行事予定

小学部		東洋英和幼稚園		大学付属かえで幼稚園	
4月	8日(月) 始業式 10日(水) 入学式 26日(金) 春の遠足 * 春の健康診断	4月	8日(月) 始業礼拝 12日(金) 入園式 * 春の健康診断	4月	1日(月) 小学生・中高生イースター礼拝 8日(月) 始業礼拝(進級児) 9日(火) 新入園児始業 11日(木) 入園式 25日(木) 園外保育(4歳児)
5月	9日(木) 授業参観日 11日(土) 学校説明会① 15日(水) ペンテコステ礼拝 25日(土) 運動会	5月	2日(木) 新入園母子歓迎会 18日(土) 父母の会 * はみがき指導	5月	9日(木) 園外保育(5歳児) * 園外保育(3歳児) 13日(月) 母の日礼拝 16日(木) 健康診断 18日(土) ワークI
6月	6日(木) 学校説明会② 25日(火) 鑑賞の日 26日(水) オープンスクール 29日(土) 土曜参観日	6月	5日(水) 母と子の遠足 13日(木)、14日(金) 入園希望者見学日 21日(金) いちようの木献金セール	6月	20日(木) 歯科検診 22日(土) ワークII * 親子の集い(4歳児)
7月	夏期学校〔軽井沢追分〕 13日(土)～15日(月) 1年1組 15日(月)～17日(水) 1年2組 17日(水)～19日(金) 2年1組、6年1組 19日(金)～21日(日) 2年2組、6年2組 22日(月)～24日(水) 3年1組・2組 24日(水)～26日(金) 4年1組・2組 26日(金)～29日(月) 5年1組・2組	7月	10日(水)～12日(金) キャンプ(5歳児)〔軽井沢追分〕 17日(水) 終業礼拝 20日(土) 入園説明会①	7月	17日(木) たのしみ会(3歳児) 終業礼拝(4、5歳児) 18日(木) 夕涼み会(4、5歳児)
9月	6日(金) コース別集団下校訓練 12日(木) 入試説明会 17日(火)～20日(金) 6年修学旅行 24日(火)～26日(木) 球技会週 27日(金) 秋の遠足(1～5年)	9月	4日(水) 始業礼拝 27日(金) 祖父母の会	9月	5日(木) 始業礼拝(4、5歳児) 6日(金) 始業礼拝(3歳児) 21日(土) ワークIII 28日(土) 入園説明会①
10月	1日(火) 追悼記念日礼拝 4日(金) 前期終業式 7日(月) 後期始業式 * 秋の健康診断	10月	1日(火) 追悼記念日礼拝 12日(土) 父と遊ぶ日(3、4歳児) 22日(火)～25日(金) 入園考査 * 秋の健康診断	10月	1日(火) 追悼記念日礼拝 19日(土) ファミリーデー(4、5歳児) 〔大学校地〕 21日(月) オープンデー(3歳児) 23日(水) 入園説明会② 30日(水) 芋ほり(4、5歳児)
11月	2日(土) 入学考査 6日(水) 学院創立記念日 学院創立記念日礼拝 7日(木) 児童引取り・徒歩帰宅訓練 29日(金) 学芸会	11月	6日(水) 学院創立記念日 学院創立記念日礼拝 15日(金) りんご園遠足(5歳児) 〔長野県上田市〕	11月	1日(金) 入園願書受付 6日(水) 学院創立記念日 学院創立記念日礼拝・音楽会 25日(月) アドヴェント礼拝I
12月	2日(月) アドヴェントを迎える会 14日(土) むかえようクリスマス 18日(水) クリスマス礼拝	12月	11日(水) 母の会アドヴェント礼拝 17日(火) アドヴェント終業礼拝	12月	2日(月) アドヴェント礼拝II 9日(月) アドヴェント礼拝III 17日(火) クリスマス礼拝(3歳児) 18日(水)、19日(木) クリスマス礼拝(4、5歳児) 20日(金) 小学生クリスマス礼拝
1月	31日(金) マグノリアコンサート	1月	9日(木) 始業礼拝 * おもちつき * ACEF訪問(5歳児)	1月	8日(水) 始業礼拝(4、5歳児) 9日(木) 始業礼拝(3歳児) * 教会訪問(5歳児)
2月	10日(月) 授業参観日 10日(月)、11日(火・祝) 美術展 11日(火・祝) 親子討論会 きらきらコンサート 25日(火)～28日(金) クラブ発表週	2月	8日(土) 父と子の遠足(5歳児)〔那須塩原〕 17日(月) 日本舞踊を観る会 * 課外日舞おさらい会	2月	8日(土) 父親保育参加(4歳児) 20日(木) 卒業遠足(5歳児) 22日(土) 人形劇 * 小学校訪問(5歳児)
3月	14日(金) 卒業式 17日(月) 修業式 * Ewha訪問の旅	3月	* お別れ会 * 課外ピアノ科おさらい会 12日(水) 終業礼拝 13日(木) 卒業式	3月	11日(火) 園外保育(4歳児) 17日(月) お別れ会 終業礼拝(3、4歳児) 18日(火) 卒業式

*印は日程が未定(2013年3月31日現在)

大学院		大学		中高部	
4月	6日(土) 入学式・オリエンテーション 20日(土) 修士論文(研究成果)題目届提出締切日(2013年9月修了見込者) 博士論文題目届提出締切日(2014年3月修了見込者) 27日(土) 健康診断	4月	2日(火) 入学式 1日(月)～6日(土) 学内オリエンテーション 27日(土) プレイデー	4月	8日(月) 中学部入学式 9日(火) 中学部始業式 高等部入学式・始業式 10日(水) 健康診断Ⅰ(中1・高1) 24日(水) 健康診断Ⅱ(全学年) 27日(土) 授業公開日・母の会総会
5月	25日(土) 入試説明・相談会(両研究科)	5月	24日(金)～25日(土) 1年生オリエンテーション合宿〔千葉県南房総市富浦〕	5月	13日(月)～17日(金) 中1オリエンテーション前後期(軽井沢追分) 高2修学旅行(阿蘇・雲仙・長崎) 13日(月)～15日(水) 高3修養会(天城) 15日(水) 中2～高1学年行事
6月	27日(木) 修士論文(研究成果)提出締切日(2013年9月修了見込者)	6月	22日(土) 東京女子大学スポーツ交流会 23日(日) オープンキャンパス	6月	4日(火)～7日(金) I学期中間試験 7日(金) 中学部鑑賞行事、花の日礼拝・訪問 20日(木)～21日(金) 高1カンファレンス 29日(土) オープンスクール
7月	6日(土) 休講(2013年度修士課程後期入学試験) 20日(土) 入試説明・相談会(両研究科)	7月	27日(土) オープンキャンパス	7月	2日(火) 合唱コンクール(中学部) 球技会(高等部) 18日(木)～8月7日(水) カナダ語学研修 20日(土)～22日(月) オープニングキャンプ(野尻) 23日(火)～30日(火) 中2夏期学校前後期(野尻) 30日(火)～8月2日(金) 訓練キャンプ(野尻)
9月	7日(土) 2013年度後期科目等履修生・プログラム履修生試験 人間科学研究科修士課程 2014年度前期(秋季選抜)一次試験 国際協力研究科修士課程 2014年度前期(秋季選抜)試験 14日(土) 人間科学研究科修士課程 2014年度前期(秋季選抜)二次試験 21日(土) 学位授与式／入学式・オリエンテーション	8月	3日(土) オープンキャンパス 18日(日) オープンキャンパス	8月	1日(木)～3日(土) 夏期修養会(軽井沢追分) 2日(金)～7日(水) キャンプ(野尻)
10月	1日(火) 追悼記念日礼拝 19日(土) 修士論文(研究成果)題目届提出締切日(2014年3月修了見込者) 入試説明・相談会(国際協力研究科のみ) 博士論文提出締切日(2014年3月修了見込者)	9月	15日(日) オープンキャンパス	9月	7日(土) 学校説明会 19日(木)～26日(木) I学期期末試験
11月	6日(水) 学院創立記念日 30日(土) 入試説明・相談会(人間科学研究科のみ)	10月	1日(火) 追悼記念日礼拝 27日(日) 公募制推薦入試 同窓生子女枠特別推薦入試 一般・社会人編入試、社会人入試	10月	1日(火) 追悼記念日礼拝 4日(金) II学期始業礼拝 12日(土) 体育祭 25日(金)、26日(土) 楓祭
12月	7日(土) 国際協力研究科修士課程 2014年度前期(冬季選抜)試験 12日(木) 修士論文(研究成果)提出締切日(2014年3月修了見込者)	11月	2日(土)、3日(日・祝) かえで祭 6日(水) 学院創立記念日 16日(土) 院内推薦入試(A日程) * チャペルコンサート * 収穫祭 27日(水) アドヴェント夕礼拝 * 清楓会クリスマスパーティー	11月	5日(火)～8日(金) 創立記念特別週間 6日(水) 学院創立記念日 学院創立記念日礼拝 7日(木)～13日(水) 授業公開週間・美術展 9日(土) 学校説明会 22日(金) 球技会(中学部) 30日(土) 入試問題説明会
2月	1日(土) 人間科学研究科 2014年度前期(春季選抜)一次試験 8日(土) 人間科学研究科 2014年度前期(春季選抜)二次試験 国際協力研究科 2014年度前期(春季選抜)試験	12月	16日(月) クリスマス礼拝 21日(土) スカラシップ特別入試	12月	3日(火)～9日(月) II学期中間試験／高3期末試験 9日(月) 中学部鑑賞行事 14日(土) クリスマス音楽会 20日(金) クリスマス礼拝 26日(木) ミニ学校説明会
3月	1日(土) 2014年度前期科目等履修生・プログラム履修生試験 15日(土) 学位授与式	1月	11日(土) 院内推薦入試(B日程)、外国人留学生入試 18日(土)、19日(日) 大学入試センター試験 31日(金) 一般入試	2月	1日(土) 入学試験A日程 3日(月) 入学試験B日程
		2月	26日(水) 一般入試(後期)	3月	3日(月)～7日(金) II学期期末試験 8日(土)、11日(火) 英和茶会 14日(金) 中学部卒業式・修業式 高等部修業式 17日(月) 高等部卒業礼拝 18日(火) 高等部卒業式 20日(木)～4月3日(木) アメリカ語学研修 20日(木)～22日(土) スキー教室(志賀高原) 24日(月)～27日(木) 社会科学習旅行(奈良・京都)
		3月	7日(金) 卒業礼拝 11日(火) 卒業式 16日(日) オープンキャンパス		
全学院					
4月	1日(月) 新任者辞令交付式 12日(金) 全学院新年度礼拝・歓迎会	11月	2日(土) 楓の会 秋の文化公演・役員総会 5日(火) カナダ宣教師墓前礼拝 6日(水) 学院創立記念日 永年勤続者表彰 16日(土) ハンドベルフェスティバル		
6月	7日(金) 後援会・母の会・学院三者懇談会 22日(土) 楓の会 春の講演会	12月	6日(金) 全学院クリスマス礼拝		
7月	5日(金) 後援会常任役員会／役員会／総会 13日(土) 三英和懇談会(於:静岡英和女学院)	3月	7日(金) 後援会・母の会・学院三者懇談会 26日(水) 退職者辞令交付式・送別会		
10月	1日(火) 追悼記念日礼拝 4日(金) 後援会役員懇談会				

春の夫婦星

梅雨入りの頃、夜の早い時間、頭上にひととき明るくオレンジ色の星が見えています。うしかい座の一等星アルクトゥールスです。日本では春小麦の刈り入れの時期に見えるので「**小麦星**」と呼ばれてきました。このアルクトゥールスから南に視線を下ろしていきますと、今年はこの星が見えます。向かって右側はおとめ座の一等星スピカです。左側に見えるのは環のある惑星・土星です。スピカは白く輝くので日本では「**真珠星**」と呼ばれてきました。スピカの優しく白い輝きは女性的と感じさせるのか、世界各地で女神などに見立てられていることが多いようです。この**小麦星**と**真珠星**は「**春の夫婦星**」とも呼ばれて、日本ではペアの星と見られてきました。アルクトゥールスの名前の意味は「熊の番人」。時間をおいて見てい

ると、地球の自転でちょうど西側のおくま座を追いかけけるように動いていくからです。さて時間をおいても、変わらない星座の形ですが、実は長い年月では変わってきます。その昔、星座の形は崩れないと考えられていました。しかし一七七八年にハレー彗星で有名なエドモンド・ハレーが、それより一八〇〇年も昔の星図と比べて、アルクトゥールスの位置が南へずれていることに気がつきました。星座を構成する恒星にもそれぞれわずかですが、動きがあることを発見したのです。実はアルクトゥールス、明るい恒星の中でこの動きが最も大きい星なのです。アルクトゥールスが動いて向かう先は：ちょうど妻の星であるスピカです。五万年後の夜空には、二つの星が仲の良い夫婦のように並んで見えることでしょう。



現在のうしかい座とおとめ座

今年はおとめ座のスカートの裾のあたり、★印の位置に土星が見えています。来年の今頃には東隣のてんびん座に移動します



5万年後のうしかい座とおとめ座

5万年はとても長く感じますが、太陽の寿命が約100億年という宇宙の時間で考えるとあっという間のこともかもしれません

お知らせ

東洋英和楓の会主催 春の講演会のご案内



中村メイコ氏



神津カナナ氏

日 時：2013年6月22日(土)
14:00開演(13:30受付開始)

場 所：小学部 講堂

講 師：中村メイコ氏・神津カナナ氏による対談
テ ー マ：「真面目に愉快に母娘の放談会！」

【申込方法】下記事項を記入の上、メールにてお申し込みください。なお、電話・FAXでのお申し込みも受け付けます。

●名前 ●学院との関係 ●電話番号 ●人数

【問い合わせ先】kaedenokai@toyoeiwa.ac.jp

TEL:03-3583-3354 FAX:03-3583-3477

【申込締切日】2013年5月31日(金)

*お申込は楓の会会員に限ります。
定員になり次第、締め切らせていただきます。

東洋英和女学院 学院報 楓園 第71号

発行日：2013年5月17日

編集：広報委員会

発行：学校法人 東洋英和女学院

東京都港区六本木 5-14-40 Tel:03-3583-3325

メールアドレス：koho@toyoeiwa.ac.jp

ホームページ：http://www.toyoeiwa.ac.jp

同窓会より

■新入会員のご紹介

東光会(高等部同窓会) 175名/楓美会(大学同窓会) 612名/大学院同窓会 28名
ご卒業おめでとうでございます。同窓会ご入会を心より歓迎いたします。

■同窓会総会のご案内

今年も初夏のけやきが美しい六本木校地で懐かしい再会を楽しむ総会の季節が参ります。午前中は卒業時の所属会の同窓会総会を各会場で、午後は中高部の新マーガレット・クレイグ記念講堂に全会が集合し学院標語「敬神奉仕」の額の下、思いを一つに東洋英和女学院同窓会総会を開きます。

今年は議事終了後の催事として、昨秋楓の会オペラコンサートで結成され好評を博した混声合唱団のザ・メイブルズの皆様でご出演くださいます。

同窓会総会実施要領

東洋英和女学院同窓会総会	日 時：2013年6月1日(土)13:10より		
	会 場：新マーガレット・クレイグ記念講堂(六本木校地)		
	総会議事：前年度活動報告・決算報告・監査報告・今年度活動予定・予算案・新役員承認		
	挨拶：池田守男理事長・院長		
	催 事：混声合唱団「ザ・メイブルズ」指揮・合唱指導 奥村昌見(高等部1976年卒)		
	お茶の会・ミニバザー(15:45終了予定)		
	各同窓会総会	保育部会(短期大学保育科)	10:30 中高部 小講堂
		かえで会(短期大学英文科)	11:00 中高部 集会室
		楓美会(大学)	11:30 本部・大学院棟
		大学院同窓会	11:30 本部・大学院棟
	東光会(高等部)	12:30 中高部 小講堂	
	楓雅会(短期大学国際教養科)	12:30 中高部 集会室	